

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		マンション共用部分バリアフリー化支援				所管	都市づくり部 住宅課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	98	計画事業名	マンション共用部分バリアフリー化支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進				[事業開始]			平成27年度	
		[小 柱] (3)住生活の安定の確保及び質の向上				[終了予定]			- 年度	
		[施策] ②良質な住宅・良好な住環境の整備促進								
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区マンション共用部分バリアフリー化支援助成制度実施要綱					
	事業対象	直接の対象 : 区内の分譲マンションの管理組合又は賃貸マンション(社宅・寮・公的住宅を除く。)を所有する個人 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	マンションの共用部分のバリアフリー化工事に要する費用の一部を補助することで、高齢者や障がい者をはじめとするマンションに居住する区民が暮らしやすい、良質な住環境の整備を促進する。								
	事業内容 [29年度]	区内のマンション(非木造・耐火建築物)の共用部分又は敷地内におけるバリアフリー化工事[①段差の解消(スロープの設置)、②手すりの取付け(廊下・階段・エレベーター内等)]に要した費用の1/3(千円未満切捨て)かつ50万円以内。								
委託の有無	なし		委託内容		なし					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	助成件数		件	10	3	8	3	10	30.0%
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				698		2,110		829
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				2,406		2,675		3,352
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0		0		0
		総経費				698		2,110		829
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		159		10
一般財源(区負担額)				3,104		4,626		4,171		
前回評価から29年度に改善した事項	分譲マンションの管理組合相互の情報交換や区からの情報提供の機会を増やし、事業の周知に努めた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	マンション居住者の高齢化が進行する中、区が助成をすることで、建築後相当の年数を経たマンションにおいてバリアフリー化を推進できるため、必要性は高い。							
	効率性	3	工事着手前の申請と現地調査及び東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルに基づく整備、施工状況を現場で確認し、効率的に事業を実施している。							
	手段の適切性	3	居住者はもとより、すべての人が円滑に利用できる目的や考えに基づいた東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルを準用することで、良好な住環境が形成される。							
	目的達成度	1	平成29年度、3件の実績があった。本事業の実施については、管理組合の総会で決議することを要件としており、合意形成の難しさや費用の捻出など、多くの時間と労力を要する。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
バリアフリー化工事に要する費用の一部を助成することで、マンションで暮らす多様な人々が便利でより快適な生活を営むことが可能となるため、引き続き広報誌やセミナー等を利用した周知や住宅関連団体への周知により、実績を向上させる。また、費用の捻出を含め、単年度、短期間で合意形成を得ることは困難が伴うが、必要性を訴え、長期的に事業の成果に結び付ける。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		